



平成 27 年 7 月 31 日

各 位

会社名 中 部 飼 料 株 式 会 社  
(コード番号：2053 東証・名証第1部)  
代表者名 代表取締役社長 久 光 正 郎  
問合せ先 総務人事部長 井 藤 直 樹  
(TEL：052-562-2010)

## 日本ハム株式会社との資本業務提携に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、日本ハム株式会社（以下「日本ハム」といいます。）との資本業務提携を決議するとともに、かかる提携の一環として、第三者割当により普通株式を発行することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、第三者割当による普通株式の発行については、本日付けで公表した「第三者割当による普通株式の募集に関するお知らせ」をご参照ください。

### 記

#### 1. 資本業務提携の理由

当社は、創業以来、配合飼料の総合メーカーとして、安全、安心で高品質の飼料の提供をつうじて、畜水産業界の発展に寄与するとともに、日本の食文化を支えてまいりました。常に新たな生産設備と製造技術の革新を目指し、特性ある飼料の開発、製造や販売を主な事業内容とし、ごまの成分が含まれた「ごまたまご」をはじめとする卵や畜水産物の販売、有機配合肥料の製造、販売も手掛け、さらには、グループ会社において、ペットフード、環境整備機器分野に至るまで、幅広くお客様から支持される製品を製造、販売しています。

他方、今後の飼料業界については、国内人口減少による畜産物消費の低迷、これに伴う飼料需要の減少、さらに、世界的な需給逼迫による原料価格の高止まり傾向、急激な為替の変動等、厳しい企業環境が予想され、また、TPPが締結された場合、業界に与える影響は大きいことが予想されます。このような状況のなか、当社は顧客価値を創造するため、自社一貫生産設備による優位性と優れた製造技術を活かして、差別化飼料の開発、製造を推進し、配合メーカーから加工メーカーへと変化し、経営理念である「特性ある仕事をして社会に貢献する」を実践して、消費者が求める良質な畜水産物の国内生産を支え続ける飼料加工メーカーとなるため、将来に向けた成長戦略を策定し実行しております。

当社は、差別化飼料の開発、製造の推進という成長戦略を実現するため、様々な課題を検討し、複数の方策に取り組んでおりますが、かかる方策の一つとして、日本ハムとの間で協議を重ねてまいりましたが、今般、資本業務提携を行うことで合意するに至りました。

日本ハムは「わが社は、「食べる喜び」を基本のテーマとし、時代を画する文化を創造し、社

会に貢献する。」を企業理念とし、当社は「特性ある仕事をして社会に貢献する」を経営理念とし、いずれも畜水産業界の発展と日本の食文化に貢献している企業であると考えております。

当社と日本ハムグループとは、従来からも飼料を中心として相当量の取引関係にあります。様々な取引の可能性等に関する日々の議論の中から派生して協議が開始されました。今後、世界的な食糧争奪戦が激化していくと予想されるなか、当社と日本ハムグループは、両社の強みを相互に活用することで、安全、安心で高品質な畜水産物の提供に向けて連携し、その実現のために協力関係を一層強化することで合意に至りました。当社としては、かかる関係強化を行うことで、飼料の安定供給（調達）、生産性の向上、差別化飼料の販売増に資することができると考えております。

当社と日本ハムグループは、かかる業務提携を行うことにより、両社の強みを総合的に組み合わせ、差別化製品の開発、製造を推進することで、両社の企業価値の向上に繋げることが可能であります。また、当社と日本ハムグループとの安定した信頼関係を構築、継続し、業務提携を確実に推進し、協力体制を盤石にするためにも資本提携が必要であり、具体的には、相互に資本参加することが望ましいとの判断に至りました。その結果、業務提携と合わせて、今般の第三者割当増資を伴う資本提携を行うことを決定し、平成 27 年 7 月 31 日、資本業務提携契約を締結し、かつ、第三者割当増資を行うことを決定しました。

## 2. 資本業務提携の内容

### (1) 業務提携の概要

当社と日本ハムグループとは、以下の内容の実現に向けて相互に協力します。

- ① 日本ハムグループの国内畜水産物生産への飼料の需要に対して、当社が安定供給体制を確立すること。
- ② 日本ハムグループによる新たなブランド食肉及び付加価値の高い畜水産物の開発、生産性の向上及び販売と、当社によるその生産のための差別化飼料の開発及び供給を確立すること。
- ③ 外部認証の取得を行うことで飼料まで遡った食肉トレーサビリティを充実させ、食の安全性を向上させること。

### (2) 相手方に新たに取得される株式数等

当社は、資本提携の一環として、日本ハム等に対して、以下のとおり当社株式を割り当てます。

割当先	割当株式数	発行済株式数に対する割合
日本ハム株式会社	558,600 株	2.10%
日本ホワイトファーム株式会社	583,200 株	2.19%
インターファーム株式会社	583,200 株	2.19%

なお、上記第三者割当に関する詳細については、本日付けで公表した「第三者割当による普通株式の募集に関するお知らせ」をご参照ください。

(3) 新たに取得する相手方の株式数等

当社は、上記第三者割当により払込みを受けた金額（差引手取概算額 1,823,090,562 円）の範囲内で、平成 27 年 8 月 21 日から 9 月 30 日の間において、市場取引により、日本ハムの株式を買い付けます。

なお、平成 27 年 7 月 30 日の東京証券取引所における日本ハム株式の終値（3,070 円）に基づき計算した場合、当社が新たに買い付ける日本ハム株式の数は 593,000 株となり、当社が既に保有する株式数（210,000 株）と合わせた保有株式数は 803,000 株（平成 27 年 3 月 31 日現在における発行済株式数に対して 0.39%）となる予定です。

3. 資本業務提携の相手先の概要

(1) 名称	日本ハム株式会社		
(2) 所在地	大阪市北区梅田二丁目 4 番 9 号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 末澤 壽一		
(4) 事業内容	肉製品製造業・食肉卸売業		
(5) 資本金	24,166 百万円（平成 27 年 3 月 31 日現在）		
(6) 設立年月日	昭和 24 年 5 月 30 日		
(7) 大株主及び持株比率 （平成 27 年 3 月 31 日現在）	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 …………… 16,126 千株（7.90%） 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 …… 11,827 千株（5.80%） 株式会社百十四銀行 …………… 7,537 千株（3.69%） 明治安田生命保険相互会社 …………… 7,354 千株（3.61%） 農林中央金庫 …………… 5,926 千株（2.91%） 日本生命保険相互会社 …………… 5,570 千株（2.73%） 株式会社三菱東京UFJ銀行 …………… 5,494 千株（2.69%） 株式会社三井住友銀行 …………… 4,650 千株（2.28%） BNPパリバ証券株式会社 …………… 3,726 千株（1.83%） 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 …………… 3,493 千株（1.71%）		
(8) 当事会社間の関係			
資本関係	当社は、平成 27 年 3 月 31 日現在、日本ハムの株式 210,000 株を保有しています。また、日本ハムは、平成 27 年 3 月 31 日現在、当社の株式 386,400 株を保有しています。		
人的関係	該当事項はありません。		
取引関係	当社は日本ハムから畜産物の供給を受けています。また、当社は当該会社の連結子会社である日本ホワイトファーム株式会社、インターファーム株式会社等へ配合飼料を供給しています。		
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期	平成 25 年 3 月期	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期
株主資本（百万円）	293,414	320,984	353,664
総資産額（百万円）	610,293	627,220	661,567
1 株当たり株主資本	1,474 円 60 銭	1,575 円 97 銭	1,736 円 18 銭
売上高（百万円）	1,022,839	1,122,097	1,212,802
営業利益（百万円）	28,021	35,700	48,444
税金等調整前当期純利益 （百万円）	28,031	35,303	44,544
当社株主に帰属する当期 純利益（百万円）	16,459	24,524	31,048
基本的 1 株当たり当社株 主に帰属する当期純利益	79 円 42 銭	122 円 11 銭	152 円 43 銭
1 株当たり配当金	24 円	37 円	46 円

#### 4. 日程

(1) 取締役会決議日	平成 27 年 7 月 31 日
(2) 資本業務提携契約締結日	平成 27 年 7 月 31 日
(3) 業務提携開始日	平成 27 年 7 月 31 日

#### 5. 今後の見通し

本資本業務提携及び本第三者割当は、当社の企業価値の向上に資するものと考えております。現時点では、平成 28 年 3 月期の連結業績予想には、本資本業務提携による当社業績の影響は含まれておりませんが、業績予想に修正を加える影響が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上